

フォーク等の「有料化」という手段でサービスの在り方を転換させていかねばならないほど、地球の危機がせまっていることが理解できます。私たち一人ひとりの地球環境に対する意識と行動がますます問われていると感じます。

### 市議会での取組みは・・・

市議会では、昨年「多摩市気候非常事態宣言」の後、「多摩市議会廃プラスチック発生抑制チャレンジ」に取り組んでいます。

- (1) マイボトルの使用推進
- (2) マイバッグ、マイはし等の使用推進
- (3) 廃プラスチック発生抑制チャレンジの周知

また、視察や来客時にペットボトル飲料等の提供を行わないなど対応を進めています。

### #任期も折り返しに。

市議会では人事改選がありました。前期に引き続き、生活環境常任委員会に所属します。公園のみどり、街路の管理などみなさんの気になること、どしどし、ご意見お寄せください！



▲市議会でも議員全員がマイボトル！  
気候非常事態宣言への取組みを推進しています

まだまだ市民の間に浸透しているとは言いがたい「多摩市気候非常事態宣言」。ていねいな周知を行い、私たち自身の暮らしを守っていくために身近なところ、身の回り、一人ひとりの「くらし」そのものを見つめなおすことにつなげていきたいです。行動できる市民の輪を広げていきたいですね。子どもたちの未来のためにも、ともに考え、取り組んでいきましょう！

### #オンラインの対話会

新型コロナウイルスで直接お目にかかることが難しいので、オンラインでの意見交換も行っています。ご希望がありましたら、下記アドレスまで。お待ちしています。→hisaka\_box@yahoo.co.jp

# 多摩市議会議員 岩永ひさかのほうれんそう

所属会派 フェアな市政 発行者 岩永ひさか  
連絡先 多摩市諏訪2-2 B410  
TEL/FAX 042-371-0763

ブログ更新中!!  
ご意見も随時  
募集しております!



<http://www.iwanaga-hisaka.net/>

今年も暑い夏がやってきます。新型コロナウイルス禍での暮らしがいつまで続くのか、まだ出口が見えているとは言い難い状況です。

市議会では、今の任期が折り返しを迎えました。後半2年間、私自身の原点を改めて見直す時間にもしていきたいと考えています。市政の話題はメディアにもなかなか取り上げてもらえず、市民に最も身近な政治の現場でもあり、チェック機関の議会であるにも関わらず、「市議会」のほうがかげざれとおっしゃる方は少なくありません。

今はインターネットなどを通じて、情報伝達や発信もしやすくなったとはいえ、私自身「読み物」としての紙媒体も大切だと思い、定期的にニュースを発行してきました。いつも、一人でも多くの方に届きますように…との願いを込めながら、配布をしています。また、日々感じていることはblog形式で細々綴っていますので、そちらもぜひご覧いただければ幸いです。

### みんなで一緒に考える地域とコミュニティ。

これが私の活動の原点です。「お任せください」というだけではなく、ともに学び、ともに考えていくことを大切にしたいと思います。ともに暮らすこの場所が一人ひとりの居場所になっていくことをめざしながら、今日も明日も明後日も、私たちの多摩市政が前に進んでいくように、活動を続けてまいります。

### 心の「安全」が第一。みんなで、安心をつくっていく。

暮らしの中にある疑問、不安、お困り事など、どうぞお気軽にお寄せください。



岩永ひさか  
「日々の活動」  
あれこれ気ままに綴ってます。

2021年7月

岩永ひさか

「困ったときはお互いさま」と心を通わせることのできる地域社会へ 今号のテーマは「環境」です。

### HISAKA'S Profile

1977年 兵庫県神戸市生まれ/1989年 北諏訪小学校卒/1992年 桐朋女子中学校卒  
1995年 桐朋女子高等学校(普通科)卒/1999年 中央大学法学部政治学科卒  
1999年～2002年 中小企業金融公庫(今の日本政策金融公庫)勤務/2002年4月 多摩市議会議員補欠選挙当選/2006年 明治大学公共政策大学院カバナンス研究科修了(公共政策学修士)/2017年～2019年 多摩市議会第31代議長  
2021年現在 議員歴6期19年 諏訪2丁目在住

市議会レポートほうれんそう

## 岩永ひさかへのご相談は・・・

ご用件と希望する連絡先を留守番電話へ！必ず折り返します。

TEL 042-371-0763 留守番電話専用



## 「多摩市気候非常事態宣言」 もっと取組みを進めよう！

### SDGsウェディングケーキモデルを掲げ所に

平和、人権、経済、社会…あらゆる人間活動は健全な地球環境があってこそ成り立つのではないのでしょうか。アフターコロナ、ポストコロナ時代を見据えたこれからの多摩市のまちづくりが問われています。

### もっと市民に広めて、共有しよう！ 「多摩市気候非常事態宣言」

昨年6月25日、市長と市議会と共同で行った「多摩市気候非常事態宣言」。毎年のように暑さが増している夏、そして、ゲリラ豪雨による水害をはじめ、気候変動を感じている最中、多摩市として「2050年二酸化炭素排出実質ゼロ」をめざしていく姿勢を打ち出しました。

国も遅ればせながら、今年に入って、「脱炭素化」をめざし、大きく舵を切り、今後、「2050年の温室効果ガス排出実質ゼロ」をめざす政府目標を達成するための動きが加速化することが見込まれます。こうした背景を受け、今後の多摩市の取組みをさらに前進させていかねばならないと考えています。

### 市全体で「二酸化炭素排出実質0」をめざした計画づくりが必要

そのためにも必要なのが「二酸化炭素排出実質0」の実現に向けた具体的な取組みと実行計画の策定です。そのためにも民間事業者や市民の現状含め、計画づくりの前提となる実態把握に早急に取り組むことが求められます。

現在、多摩市では「みどりと環境基本計画」の見直し時期を迎えていますが、新型コロナ禍にあり、次期計画の策定期間を先延ばしすることとしています。しかし、地球温暖化防止に関する計画策定はその上位計画となる「みどりと環境基本計画」の策定を待ってからの制定では遅すぎます。

今後、市側も環境省などの助成金を活用しながら、積極的に取り組む姿勢を表明しましたが、計画内容が絵にかいた餅にならぬよう見守っていきたいと思います。

### SDGsウェディングケーキモデルをまちづくりの柱に！

さて、SDGsは2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標で、17の目標と169のターゲットで構成され、世界じゅうでの取組みが求められています。日本においても、その関心が高まってきていますが、「誰一人取り残さないことを基本理念とする」SDGsの考え方を市長もまちづくりのベースに取り入れると述べ、今後の取組みに市民の期待が寄せられています。

この17の目標を捉える時、私は、

### 「気候非常事態宣言」とは？～多摩市公式ホームページより～

世界でさまざまな異常気象が観測され、猛暑や干ばつ等による甚大な被害が発生し、もはや気候変動ではなく気候危機であると言われています。

この気候の危機的な状況について、自治体等が気候危機を宣言することで、市民と気候危機を共有し、ともに地球温暖化対策に取り組むため宣言を行うものです。

多摩市の宣言は「2050年二酸化炭素排出実質ゼロ」「廃プラスチック類（特に使い捨てプラスチック）削減」「生物多様性の保全」の3項目を掲げています。

スウェーデンのレジリエンス研究所による「SDGsウェディングケーキモデル」がとてもわかりやすいと思います。まさに「あらゆる人間活動は健全な地球環境があってこそ成り立つ」ということを示すものです。

ただ単に、SDGs全17目標を並べるのではなく、大きく3つの階層（経済圏、社会圏、環境圏）に分類し、それらが密接に関わっていることをウェディングケーキのような立体的な図により表現しています。

経済も社会も「環境圏」に支えられている。そのことが捉えやすくなると思います。

これからは、地球環境を守ることをさらに重視し、重点的に取り組んでいく必要があります。国はレジ袋有料化に続き、プラスチック製のスプーンなどのサービスについてもなるべく減らしてく方向に舵を切りました。企業においても、プラスチック容器の「脱使い捨て」への試みが始まっていますが、使い捨てスプーン、

